

DIST-COM 総合診断結果のイメージ

回答の信頼性をここで診ます。

総合判定はこちらで。

DIST 診断表				会社名				
口開期	2011年12月5日	既卒	性別	生年月日	年齢	氏名	受検番号	0001

検査結果の信頼性			
①信用尺度	A B C	10点	この診断結果は信頼できる。テストの質問に対して正直に、積極的に回答している。
②疑問点	A B C	0点	
総合判定		総合換算点合計 36点	順位 2位
①原因別ストレス耐性	A B C D E	換算点合計 15点 順位 2位	総合的に見て、原因別ストレス耐性は高い。
②ストレス対処資質	A B C D E	換算点合計 21点 順位 1位	総合的に見て、ストレス対処資質は非常に高い。

ストレス対処資質のタイプ		
■タイプ分け(軸マトリクス)		
柔軟度 ⑥+⑦+⑧	4 協調融和型	1 積極協働型
	3 平均型	
	5 要開発型	2 果敢固執型

特性項目プロフィール			
特性項目	診断内容	換算点(5段階)	
原因別 ストレス耐性	①対人ストレス耐性	人間関係から生じるストレス要因に対して過剰に敏感にならないかどうか	5
	②対課題ストレス耐性	自分にとって難易度の高い課題に対して、積極的に対処できるかどうか	4
	③対役割ストレス耐性	組織のなかで重要な役割を担うことを苦にしないかどうか	3
	④対環境ストレス耐性	周囲の物理的な環境変化に対して臨機応変に適應できるかどうか	3
ストレス 対処資質	⑥自己効力	体験に基づき自信と有能感があり、ものごとに対して挑戦的な姿勢をもっているかどうか	5
	⑥思考のコントロール	困難な状況でも見方をかえることで前向きになれるかどうか	5
	⑦感情のコントロール	周りの人の言葉や態度に過敏にならず、安定した精神状態でいられるかどうか	4
	⑧サポート活用能力	問題が起こったときに、友人、家族や専門家などの力を活用することができるかどうか	4
	⑨タマインド	思うようにいかない状況でも、柔軟な性格や態度面での強さをもっているかどうか	3

リスクテイク度(⑤+⑨)			
■判定		換算点合計	判定
リスクテイク度	自分の力を信じて、失敗を恐れずに前に踏み出していくことができる傾向	8	高
柔軟度	ものの見方や気持ちを切り替え、また、人の力を適切に借りることができる傾向	12	高
■解釈 ※診断結果によっては、このタイプにも当てはまらない場合があります			
1 積極協働型	ストレスに対処していくうえで、自分の強さを高く自信と、状況に応じた冷静な判断力を備え、周囲の援助も活用できるバランスがとれたタイプ		
2 果敢固執型	ストレスに対処していくうえで、自らが信じた道を突き進む強さを持ち、目標に対して、失敗を恐れずに挑んでいくタイプ		
3 平均型	「リスクテイク度」「柔軟度」ともに、平均水準にあり、特に目立った面が見られないタイプ		
4 協調融和型	ストレスに対処していくうえで、自己中心的にならず、周囲の意見を参考にして、ものの見方や気持ちを切り替えていくタイプ		
5 要開発型	ストレスに対処していくうえで、自分の中の資源が不足している、または十分に活用できていないので、開発を必要とするタイプ		

ストレス耐性、ストレス対処資質のそれぞれの特性について。

リスクテイク度と柔軟度について。

※DIST-COMをご発注いただきますと、DISTの診断結果の解釈の方法を説明した「活用マニュアル」を一緒にお届けします。